

## フィロス・コレクション ロートレック展 時をつかむ線

SOMPO 美術館（西新宿） 24.06.22～09.23



「アンリ・ド・トゥーズ＝ロートレック」(1864～1901) は、19 世紀末フランスを代表する画家で、本展では画伯の「約 240 点の作品」が展示されている。

米国の「フィロス・コレクション」は、「ロートレック」のグラフィック作品の個人コレクションとしては世界最大級を誇り、本展の展示品は、素描作品を核に、版画、ポスター、構図装丁を手がけた雑誌や書籍、手紙に、知人が撮影をした写真など、作家そのものに肉薄した作品と資料が数多く紹介されている。

ロートレック 《キャバレーのアリスティード・ブリュアン》 1893 年  
アリスティード・ブリュアンは、寄席芸人・キャバレーの口上者である。  
本展では「ポスター作品」「素早い描線の素描作品」を公開。  
画伯は生涯に「約 30 点のポスター」を手がけているが、今回は「21 点」が公開されて、「素描」では完成度の高いものから、紙片に描いた簡単なスケッチ、ポスターの下絵まで多岐にわたる「約 45 点」が展示されている。  
ロートレックのポスター《ディヴァン・ジャポネ》《ジャンヌ・アヴリル》



画伯は、最初のポスターの制作以来「30 点余り」のポスターを描き、本作はカフェ・コンセール中央に「ディヴァン・ジャポネ」が描かれている。(左)  
右下方に楽器を持つ手で頭部の半分を隠した人物を配し、舞台上で踊る「ジャンヌ・アヴリル」が望まれる大胆で独創的な意匠の作品である。(中)  
素早い描線で描かれた素描《騎手》は制作過程を見ることができる。(右)